

会議概要

会議の名称	第9回久喜市総合振興計画審議会
開催年月日	平成24年6月27日(水)
開始・終了時刻	午後1時30分～午後3時00分
開催場所	久喜市役所 4階 大会議室
議長氏名	榎本善司
出席委員(者)氏名	関口富子、高野法子、中西康、布川勇、山田恵理子、坪井喜代子、金井榮治、齋藤馨、齋藤勝、野矢良子、松沼精治、宮内智、榎本善司、柴崎美雄、戸草内登、長島一枝
欠席委員(者)氏名	小川かおる、並木源榮、野川洋、山中大吾
説明者の職氏名	折原哲夫企画政策課長、芝崎智士担当主査
事務局職員職氏名	保坂弘総務部長、折原哲夫企画政策課長、齋藤清企画政策課長補佐、芝崎智士担当主査
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 総合振興計画(案)について (2) 市民意見提出制度(パブリックコメント)及び市民懇談会について 4 その他 5 閉 会
配布資料	<p>資料1 久喜市総合振興計画(案)</p> <p>資料2 久喜市総合振興計画(素案)に対する意見及びその修正案等一覧</p> <p>資料3 市民意見提出制度(パブリックコメント)</p> <p>資料4 市民懇談会</p>
会議の公開又は非公開	公開
傍聴人数	0人

審 議 会 会 議 録

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
司会（折原課長）	<p>1 開会</p> <p>第9回久喜市総合振興計画審議会を始めたいと存じます。 本日の出席委員が16人でございますので、本審議会条例第7条第2項の規定により、委員の過半数の出席を満たしておりますので、本会議が成立していることをご報告させていただきます。 なお、小川委員、並木委員、野川委員、山中委員におかれましては、本日欠席の連絡を受けております。 傍聴者は現在ございません。</p>
榎本会長	<p>2 会長あいさつ</p> <p>これまで検討してまいりました総合振興計画、きょうの会議で案になっております。この会議で成案を得れば、次の段階はパブリックコメントということになるそうでございます。きちんといいものに仕上がって、それが実行されれば必ず将来が良くなっていくのではないかと、関わった我々は嬉しいことだと思えます。よろしくお願ひします。</p>
議長（榎本会長）	<p>3 議題</p> <p>※久喜市総合振興計画審議会条例第7条第1項の規定により、会長が議長に就任</p>
議長（榎本会長）	<p>本日の会議録署名委員は、中西委員と布川委員にお願いします。</p> <p>(1) 久喜市総合振興計画（案）について</p>
事務局（芝崎担当主査）	<p>(1) 久喜市総合振興計画（案）についての説明 ※資料1、資料2を使用して説明</p>
議長（榎本会長）	<p>説明のありました、久喜市総合振興計画（案）について、意見等ございますか。</p>
布川委員	<p>資料1、47ページ、リーディングプロジェクトの構成図で、「しんらいプロジェクト」ですが、私はこの図を見て気になったのは「あんしん」と「やさしさ」は重なっているところがあります。それから「あんしん」と「かいてき」も重なっているところがあります。ところが「あんしん」と「しんらい」は重なっているところがありません。表現の仕方だと思うんですけども、どうなのでしょう。</p>
事務局（折原課長）	<p>この図の重なっている部分、表現の仕方に特別の意味はございません。1つのプロジェクトを1つの円で描いて、4つの円を並べたときに、たまたま重なったということでございます。 ただ、ご指摘のとおり、そうやって深く見られる方もいらっしゃいますので、図の表現を少し改めさせていただきます、パブリック</p>

<p>布川委員</p>	<p>クコメントまでには、事務局で修正させていただきます。</p> <p>気になったのは、それぞれのプロジェクトにおいて重なる部分が当然出てくるんだろうと思いますので、4つの円を重ねて4つのプロジェクトにまたがるようなエリアが出てくる。そういうふうにしてもよろしいんじゃないかなと思いました。</p>
<p>事務局（折原課長）</p>	<p>この4つのプロジェクトで特に最初の「あんしん」、「やさしさ」、「かいてき」は、市民の視点からの、まちづくりのプロジェクトでございます。</p> <p>一方、「しんらい」については、行政の視点からのプロジェクトでございます。「しんらい」は、3つのプロジェクトを支えるための手法という考え方でございます。土台になるようなものになりますので、布川委員のご指摘を踏まえながら、事務局で構成図を検討したいと思います。</p>
<p>柴崎委員</p>	<p>人口が平成34年には、約15万人という推計ですが、いろいろな計算があると思いますけど、人口が減るというのは、まちが退化することなんですよ。この10年間のうちに減るのではなくて、若い者が定着できるような施策を講じていかなければいけないと思います。計画に基づいて、施策を講じて、若者も増えることを大いに推奨しているんだという心構えのもとにしていかなくてはいけないと思います。ただ、人口が減少してくるから、日本人が減少してくるからこういうふうな自然減で減ってくるんだということであれば、何のための振興計画ですか。振興計画というのは振興することなんだから退化することではなく、邁進のもとなんです。そのことをこれは盛り込まれないということは、非常に私の感覚でいくと残念なんです。これをどういうふうに考えているのか、その辺の考え方を教えてもらいたいと思います。</p>
<p>事務局（折原課長）</p>	<p>将来人口でございますが、まず人口推計につきましては、これまでの久喜市の人口の増減を勘案し、これまでも定住促進や転入促進の施策に取り組んではおりますけれども、これまでの状態で推計すると平成34年には14万9,784人まで減少していく推計でございます。</p> <p>今回は、目標人口ということで、さらにこの推計人口をできるだけ減少させないように定住や転入の促進を図り、それらの施策によって、平成34年の目標人口を15万900人まで持っていきたいという目標人口ということで、今回設定をさせていただきました。</p>
<p>柴崎委員</p>	<p>それは分かりますが、かなり高いハードルを置いて、それに向かって進んでいく、やっていくんだという計画を立てる必要があると思います。計算でいくのではなくて、さらに高いところのハードルを目指していく、そういう計画にしていきたいと思いますがいかがですか。</p>
<p>事務局（折原課長）</p>	<p>平成24年6月1日の久喜市の総人口が15万5,947人でございます。今後10年間これを維持していくというのは、現在のこ</p>

	<p>の日本の人口減少時代の社会の中では並大抵のことではないということは、今回の推計でも出ております。</p> <p>柴崎委員がおっしゃるとおり、やはり市としてもこの流れに甘んじてるだけはいけませんので、積極的に定住や転入施策を講じ、人口を維持していくということは大変重要なことでございます。</p> <p>事務局としては、そうした施策を踏まえ目標人口は、15万9000人ということで考えていますが、委員の皆さんの考え方も伺いたいと存じますので、よろしくお願いいたします。</p>
議長（榎本会長）	<p>案として市民の皆様に向うわけですが、事務局として、あまり達成できないような視点では、目標を掲げにくかったということではないのでしょうか。</p>
事務局（折原課長）	<p>目標人口について、約1,100人程度は推計人口に上乗せをいたしました。それはこの総合振興計画で様々な転入施策に取り組むことで設定しました。これはあくまで目標ですから、設定をどこへ持って行くかということであり、これでは夢がないのではないかと柴崎委員さんの意見だと思います。</p> <p>例えば、新加須市の例でいきますと、目標人口を設定していますが、加須市の人口は平成23年1月現在、11万7,396人です。推計人口は11万6,000ということで、やはり減少します。ただ目標人口は12万人ということで現在の人口よりも3,000人ぐらい高く設定している例もございます。それに比べますと、私どもが出した案は推計人口に近い案であるということが言えると思います。</p>
柴崎委員	<p>資料1、49ページで、信頼と行財政改革、信頼というのはいいと思います。信頼されなければ役所は何もなりませんから。ただ、現在の久喜市の予算を見ると440億7,600万ちょっとぐらいだと思いますが、この財政が将来にわたってはどうか変わってくるのか、その辺のところをどう公表してるのか。多くなってるのか、少なくなってくるのか、5年後、10年後はどうなるのか教えてください。</p>
事務局（折原課長）	<p>財政関係につきましては、資料1、160、161ページに記載させていただいております。ここで健全な財政運営の確立ということで成果指標を、経常収支比率、公債費負担比率、実質公債費、市税の滞納額、年度末財政調整基金の残高ということで設定しております。これらが財政を図る指標というふうに言われています。この数値が目標値どおりに推移ができれば財政的にはかなり健全な財政運営が行えているという形になっております。</p> <p>具体的な金額ではございませんが、金額よりも、この数値によって健全化度が図られるということでございます。</p>
議長（榎本会長）	<p>さきほど柴崎委員さんから意見のありました目標人口の関係について、皆様のご意見を伺いたいと思います。</p>
関口委員	<p>特にありません。</p>

高野委員	<p>埼玉県や久喜市だけでなく、国全体が人口が減っているという数字が歴然として出ています。そういう経緯がある中で、この久喜市だけがまた全く違う方向に行くというのは、どこか国の流れとか県の流れと反するのではないかなということを感じます。</p> <p>また、目標人口については約1, 100人を増やしています。そういう全体の状況の中、この程度ではないかなということを感じました。</p>
中西委員	特にありません。
布川委員	<p>約1, 100人という数値は、子育て支援、産業の振興、雇用の確保、福祉・教育の充実などがありますが、各施策の成果としての目標人口増をそれぞれで想定し、それを合計すると約1, 100人ということですか。それとも、おおよそ約1, 100人は増えるのではないかということですか。それと、国の人口推計等があって、各施策を頑張って講じても、このくらいにとどまるということでしょうか。</p> <p>また、表では各層の人口推移も示されています。これからの総合振興計画の作り方によって、3つ挙げてあります、年少人口、生産年齢人口、高齢者人口のうちの生産年齢人口を増やすという努力はこれからしていかないといけないのかなという気はしていますが、どうですか。</p>
事務局（折原課長）	<p>布川委員の質問で、ここの上乗せした約1, 100人の根拠でございすけれども、久喜市では、これまでに多くの区画整理を実施してきましたが、そこにまだ空いている土地があります。そこへ転入者が転居してくることを想定いたしまして、人口定着率を計算しています。現在の区画整理の人口定着率は、57.1%となっているものを、60%までに努力して上げようと。そうしますと推計人口が15万900人ということになるということで、現在の区画整理の中の空いてる土地をできるだけ転入者等に入ってきていただいて、約1, 100人を目標人口に設定したという考え方になっております。ですから、その定着率を上げれば、目標人口も上がっていきますので、何%へ設定するかということになると思います。</p>
布川委員	加須市はかなり無理をしてるということですか。
事務局（折原課長）	<p>加須市の目標人口の設定根拠は、わかりませんが、多分何らかの根拠はあると思います。</p> <p>私どもの根拠としては、できるだけ区画整理の人口定着率をあげていきたいというところがございます。</p>
布川委員	生産年齢人口については、どうですか。
事務局（折原課長）	<p>生産年齢人口を増やすことができれば市の活性化につながると思います。あわせて、それとともに年少人口も子育て支援というか、子育てしやすさ、しやすいまちづくりをすることによって、年少人口も増やしていかななくてはならない。そういう施策を展開していく必要がございます。</p>

山田委員	<p>このことから、子育て支援の充実、産業の振興、雇用の確保、福祉・教育の充実、居住環境の保持・増進などの施策を推進することにより、生産年齢人口、それに伴う年少人口を増加させるという目標人口になっております。</p> <p>実現可能な目標人口としては、妥当な数字だと思います。</p>
坪井委員	<p>区画整理の人口定着率を57.1%から60%にすることによっての人口増ということでありましたが、区画整理も住宅地、あるいは工業地とかあるかもしれませんが、その辺の見通しとかは勘案されたんでしょうか。</p>
事務局（折原課長）	<p>区画整理の人口定着率については、住宅系の区画整理によるものでございまして、工業系については、除外をしております。</p>
坪井委員	<p>今、久喜駅前に大きなマンションが建設されていますが、今後、予定されている計画等は、ありますか。</p>
事務局（折原課長）	<p>久喜駅前のマンションは、区画整理ではございません。民間の開発によるものでございます。今後予定している住宅系の区画整理というのは、現時点においては、予定してございません。一番新しい区画整理が、菖蒲北部区画整理が施工中でございます。</p> <p>今後は、これまでの区画整理の土地がまだ空いていますから、そこに新たに住んでいただけるような、そういう施策を今後展開していく必要があると思っています。区画整理は、市も投資していますから、そこに空いた土地の活用を促進することが必要です。そこに住んでいただき、人口定着率が上がれば、その後、また新たな区画整理も検討されると思います。現状では、少子高齢化の時代ですから、なかなか次の区画整理を立ち上げるというのは厳しい状況だと考えております。</p>
坪井委員	<p>そうしたときに今の60%の見通しが今後10年間で妥当かどうかで人口の目標値がちょっと変わってくるということでしょうか。</p>
事務局（折原課長）	<p>平成34年の人口推計14万9,784人は、現時点での区画整理の人口定着率57.1%で見込んでおります。目標人口は、その定着率を60%にした場合に15万900人になるということでございます。</p>
坪井委員	<p>見込み数値なので非常に難しいと思いますが、せめて現状維持ぐらいは欲しいという希望はあるんですけども、そうかといって今の全国的な減少傾向を見ると難しいので、区画整理の人口定着率を65%程度にしたら何人ぐらいになりますか。</p>
事務局（折原課長）	<p>65%に設定しますと、15万2,800人になります。68%まで上げますと15万4,000人となります。ただ、区画整理は定着率が70%を超えれば、住宅街としての街並みが形成されると考えておりますので、そこまで10年間で持っていけるかどうかと</p>

<p>金井委員</p>	<p>というのは大変厳しい状況ではないかと考えています。あくまでも目標でございますから、どの辺で設定するかということになります。</p> <p>人口推計は、15万9000人でいいのではないですか。それぞれの条件を整えば増えてくるといいますけれども、景気の動向によっても、これが決まるだろうと思います。栗橋地区の豊田の区画整理が120～130ヘクタールだと思いますが、これもまだ埋まっていません。栗橋地区の駅西の区画整理も地主がほとんど農家の人や大手不動産が持っています。そこに土地の下落という現象が起きたために、農家の人はそれを30万が15万になってしまうと売るという意識が薄らいできています。昔のバブル経済までとはいかないまでも、下がらないで不動産屋が買いにくると、こういうふうな状況下であれば15万を保てるだろうと思います。</p> <p>特に豊田のほうは駅から正面に向かって広大な敷地がソバかコスモス畑のままです。東武不動産が持っています。</p> <p>最初の計画では、13階建て、30階建てが建つ予定で、ビルが10何階建てが13棟ぐらいあそこに建つ予定でした。そこを市街化区域を1%なり2%上げようと思っても、大手不動産が動いてない。結局、不動産業者が景気の動向を見て建てるか建てないか。それから駅に近い所は再開発などで、そこにマンションが何10階というのが建つか建たないか決まりますから、目標人口が15万を超える数字というのは妥当な数字だろうと思います。</p> <p>まちが発展するんだったら1,000や2,000ではないんです。1つのまちが張りつく20万都市構想を掲げなくてはだめなんです。15万の人口ならば、あと5万人ふやすにはどうしたらいいかという、そういうふうな都市構想を出すべきだと思います。</p> <p>こういう不景気なところに15万へちょっと上乘せであっても、これは努力が大変だと思います。だからこの数字で結構だと思います。市街化区域の何%かを家が建設できるような体制になっても1,000か2,000しか増えないと思います。夢だけは20万人ぐらいを持つようなどこか構想を立ててもらったほうがいい。総合振興計画は、実施が伴うから、希望的な観測だけで数字が出せないと思いますので、この数字でいいと思います。</p>
<p>齋藤（馨）委員</p>	<p>私も金井委員の発言、そのまま同感です。素人の質問ですが、人口を増やす、大きいマンションができる、住宅がふえる。そういう所へ、そういう形からふえる人口増加というのは、その地域の経済効果的にはどうなんですか。単純にそれはプラスと考えていいんですか。</p>
<p>事務局（折原課長）</p>	<p>人口と経済との関係は、人口が増えれば、それだけの消費活動も増えるわけですので、少なからず人口が増えれば経済的にはプラスの効果働くというふうには考えております。</p>
<p>齋藤（馨）委員</p>	<p>わかりました。今の人口推計の目標案というのは、これでいいのではないかと思います。</p>

野矢委員	<p>私もこの目標で仕方がないのかなと思います。増やす、増やさないは、やはり10年というのは、10年一昔っていいですけど、この場合は一昔ではないと思います。20年、30年しないといけないのかなと思います。やはり交通の便が問題になってくるので、そこから人が増え、家が増えという、家が増え、人が増えということなので、この10年ぐらいでどこがどうなのというのは難しいと思います。圏央道の進捗が今鈍化しています。そのようなこともあるので、10年後、新たに総合振興計画を策定する際に、人口推計が増やせるような要因があればいいのではないかなと思います。</p>
松沼委員	<p>いろいろと検討したうえで目標人口も決めたようですから、この数字で行くのが妥当かなと思います。</p>
宮内委員	<p>ご説明を伺いまして、細部にわたって算出されたものであるということと、それから努力目標をプラスしてということで、15万は今の人口から見るとちょっと寂しい気もいたしますけれども、計画の中でこの人口は目標であって、計画は夢のあるやはりスケールの大きいものにしていただきたいというのもあります。数字はこれでよろしいのではないのでしょうか。</p>
戸草内委員	<p>今は若い人が定着しない時代なんだろうと思います。定着してくれば、推計人数も増やせるんだと思いますが、なかなか今は難しいですね。また、数値的にはよろしいのではないのでしょうか。少子化の問題もあったりとか、そういう形のなかではそんなに急激には増えないと思います。</p>
長島委員	<p>国も埼玉県も久喜市も、全体的な中での人口減少になっているので、コツコツとこの目標に近づけるようにやっていけば、この15万の目標については達成できるのではないかなと思います。</p>
齋藤（勝）副会長	<p>本当に皆さんの意見を伺いまして、そのとおりだと思います。総合振興計画としてはもっと夢が欲しい。しかし、現実を考えるとあまり夢を語って、あの人たちがどういう判断をしたのか実績もなければいけないということで、適正な数字だけでも夢がない、増えない、こんなところだと思います。</p>
議長（榎本会長）	<p>皆さんご意見を伺いまして、民間によるマンション建設等があると思いますが、これはプラスアルファみたいなものだと思います。 また、圏央道の効果がまたどう出るかというのが分かりません。計画としては、現実に近い、この案でよろしいと思います。</p>
事務局（芝崎担当主査）	<p>（2）市民意見提出制度（パブリックコメント）及び市民懇談会について</p>
議長（榎本会長）	<p>（2）市民意見提出制度（パブリックコメント）及び市民懇談会についての説明 ※資料3、資料4を使用して説明</p>
議長（榎本会長）	<p>説明のありました件について、意見等ございますか。</p>

金井委員	<p>懇談会の日程等の決定をするにあたり、それぞれの地区の地域の代表の方と連絡を取り合ってこの日程に決定したんですか。</p> <p>ある区長と話したら、「うちの地区は、市民懇談会の日に神輿が出て回るんだよ。この日にどうしてだろうね。」と、言っていたので、どういうふうに日程を決定したのか教えてください。</p>
事務局（折原課長）	<p>市民懇談会の開催日程の関係でございますが、主管課は広報広聴課で実施しておりまして、確認いたしますので、少々お時間をください。</p>
松沼委員	<p>私は、栗橋地区の区長会の会長でして、市から連絡がありました時に、神輿の件の話をしました。日程については、決定事項ということだそうです。日程が決まりましたという連絡はありました。日程の変更は、難しいということでした。</p>
柴崎委員	<p>市長が来て自分で説明すると言うが、人が集まるか集まらないかが一番心配です。よほど来てくださいという要請をしないと来ないと思います。市役所何課で申し込んでくださいとなると、申し込みが無い。我々、老人クラブの会長に頼ってきて、ぜひお願いします。となると、定員を超えるような人が集まる。そういう手を打たないと来ないと思います。市民懇談会を開催しても人が来なければ何もならない。ぜひ、その辺は心して実施してください。</p>
事務局（折原課長）	<p>市民懇談会の日程調整につきまして、担当の広報広聴課で確認をしましたところ、日程は行政側で決めさせていただき、それを区長の皆様に報告をさせていただいているとのことです。</p> <p>金井委員の、ご意見について、広報広聴課に、伝えます。あわせて、柴崎委員さんの件につきましても、できるだけ人が来ていただけるような方法の検討についても伝えさせていただきます。</p>
松沼委員	<p>栗橋地区については、7月7日午後2時～4時ですが、神輿の出る夏祭りが5時から開始で、役員は4時集合となっておりますから、2時間の予定を1時間30分程度に設定していただくような調整をしていただければと思います。</p>
事務局（折原課長）	<p>広報広聴課に伝えます。</p>
議長（榎本会長）	<p>ほかにご意見がないようですので、これをもちまして、議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
司会（折原課長）	<p>4. その他</p>
司会（折原課長）	<p>次回、第10回審議会の開催は、平成24年8月27日、月曜日、午後1時30分から市役所4階大会議室で予定をしております。なお、会議の開催通知などにつきましては改めて送付をさせていただきます。</p>

<p>齋藤（勝）副会長</p> <p>司会（折原課長）</p>	<p>5. 閉会</p> <p>市民懇談会など、市役所は何かの説明会を実施したという、その段取りが必要で実施するような雰囲気がございます。やはり、市民に向けた説明会を実施するのであれば、いかに大勢の人に聞いてもらうかということを事務局でも考えていただきたい。そのような皆さんの意見だと思います。</p> <p>本日は、お疲れさまでございました。</p> <p>以上を持ちまして、第9回久喜市総合振興計画審議会を終了します。</p>
<p>会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。(注)</p> <p>平成24年7月18日</p> <p>中 西 康</p> <p>布 川 勇</p>	

(注) 特に署名等を要しない審議会等については、事務局名を記入する。